

令和3年度 管理運営業務点検報告書

対象施設	横浜市藤が丘地区センター
対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日
指定管理者	特定非営利活動法人 建物管理ネットワーク
実施日	令和4年1月19日
点検方法	この業務点検は、別紙の業務点検結果シートの点検項目及び点検内容に基づき、指定管理者から提出された報告書類の内容審査及び実地でのヒアリングにより実施した。
講評	当施設での経理事務、利用者への接遇(苦情・要望対応)等は適切に行われ、施設内も整理整頓がなされており、施設の管理運営は概ね適正に行われていると認められる。
指摘事項	特になし
改善状況	
添付資料	業務点検結果シート(別紙)

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、見込額達成状況	3,555,620円
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住区別利用数、その他利用数	346日、81,729人
	会議室等稼働率	部屋別の稼働率	良好に稼働している。
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率	36,564,000円(100%)
		ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	植栽工事、温水便座工事、ベビーベット設置料等
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書の自主事業計画との整合性	開催回数265回、計4,329人
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	適性。
	施設の管理状況	点検日時、点検状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三者への委託状況等)	計画通り履行されている。
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	階段室排煙装置修理、換気扇交換等実施。
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	適正に管理されている。
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コールセンターへの意見・要望等)や利用者ニーズの把握状況と対応、掲示の有無等	把握方法①ご意見箱②利用者アンケート(全196件 団体・個人・図書)③センター委員会④利用者会議⑤点検確認書⑥日々のご意見 ①は2週間以内に返答、②～④は館内閲覧可
巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	清潔さと整然さを保っている。	
年1回	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	館内閲覧ファイル、総合パンフ、H/P
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況(研修の実施、誓約書の提出等)	実施済・提出済
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	緊急時対策及び防犯・防火マニュアル更新:6月22日研修
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	同上
		消防計画の作成・提出状況	消防計画及び管理者選任届:5月24日変更提出
	保険	施設賠償責任保険への加入	契約書保管あり
	研修	職員等に対する研修の実施状況	休館日研修 接遇、緊急時対策、避難訓練実施等
本市重要施策への実現に向けての取組	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市内中小企業への優先発注等の取組状況等	ゴミの分別、市内中小企業への優先発注、谷本地区環境事業推進委員会及び社会福祉協議会への優先・減免施策、地区センターの女性雇用率54%	
随時	地区センター委員会	日時、場所、出席者、議題、意見等	第1回センター委員会を6月17日、第2回センター委員会を3月17日に実施。 自主事業の収支がマイナスなのはなぜか、令和4年度の自主事業はどのようになっているのか等の意見があった。
	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	2月7日に実施。 コロナ禍で地区センターの運営方法の変更はどのような形で決まっているのか、ボランティア活動は重要であり参加したいと考えている方々が増えている、地区センターの活動内容を教えて欲しい等の意見があった。
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	なし
	損害賠償	損害賠償の発生状況	なし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	なし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	事業計画書
	喫緊の対応が必要又は特に重要な意見、要望	すぐに対応が必要な施設に対する意見、要望	体育室へのエアコン設置
特に重要な施設の維持管理、修繕に関すること	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管理、修繕に関する状況	体育室雨漏り工事完了:8月10日	
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	コロナ禍における備品の貸出、消毒に努め、利用者ニーズに応えた。 緑のボランティアによる花壇の植栽を行い、景観向上につながった。		特になし